

行事報告書(研修)

報告者：森永啓司

行事名	自然観察会
実施日時	2021年 11月 11日(木曜日) 10時 ~ 14時20分 天候：曇り時々晴れ
場所	箕面の森
テーマ	植物観察
講師	(観察リーダー)1班/池田清さん 2班/藤原泰子さん 3班/大原徹さん (全体リーダー)大原徹さん
参加者(合計数)	27名
内容 (項目と概要)	<p>最初に大原リーダーのご挨拶の中、夕刻からの雨天予報を勘案して解散時間を繰り上げ14時20分に変更された事を踏まえて、3班に班分け後順次スタートする。</p> <p>(観察コース) 10時/箕面駅前/集合-商店街-聖天橋-西江寺-聖天展望台(折り返し)-12時20分/龍安寺・弁財天/昼食-箕面川左岸-姫岩-箕面川右岸-14時20分/龍安寺・弁財天/解散</p> <p>(研修資料「箕面公園の植生リスト」から抜粋)</p> <p>① <u>(右)ハウチワカエデと(左)オオモミジ</u> ・ハウチワカエデ(別名:メイゲツカエデ/ムクロジ科カエデ属)は切れ込みが浅めで、表面のシワが目立つ。 ・オオモミジ(ムクロジ科カエデ属)はイロハモミジより葉が大きく、裂片は幅広く、切れ込み数が多い。</p> <p>② <u>アマヅル(別名:オトコブドウ/ブドウ科ブドウ属)</u> ・つる性木本 ・よく似たサンカクヅルやノブドウに紛れて気づきにくい、通常は不分裂だが時に3浅裂、幼木で3~5中裂から深裂もある。 ・名前の由来は葉を噛むと甘いから?</p> <p>③ <u>タマミズキ(モチノキ科モチノキ属)</u> ・高木 ・葉はサクラに似た形で、基部が丸くなる。鋸歯が目立たない事や赤みを帯びる葉柄、ミズキに似た樹形も特徴。 ・実は約3mmで冬でも良く残り、良く目立つ。</p>
まとめ 感想	未だ少し紅葉の盛りには早い時期でしたが、心配された雨も無く絶好の観察日和と成りました。各リーダーの皆さんには丁寧なご説明を戴き、また下調べの等の労力と熱意には感謝申し上げます。季節の移り変わりを感じる充実した一日と成りました。

